

専門職員がチームでサポート 「鹿部町こども家庭センター」を設置しました

町では、これまで「保健」の面から妊産婦さんを支えてきた「子育て世代包括支援センター」と、「福祉」の面からお子さんやご家庭を支えてきた「子ども家庭総合支援拠点」を統合し、新たに「鹿部町こども家庭センター」を設置しました。

○窓口がひとつでスムーズに

これまで内容によって担当が分かれていましたが、これからはひとつの窓口で、保健師や社会福祉士などの専門職員がチームとなって対応します。

○妊娠期から18歳まで切れ目なく

出産前のご不安から、お子さんの成長に伴う悩み、自立に向けた相談まで、お子さんの成長段階

に合わせて長く寄り添います。

○こんなとき、お気軽にご相談ください

- ・初めての妊娠・出産で、体調や生活に不安がある
- ・離乳食を食べてくれない、言葉が遅い気がする
- ・子育てにイライラしてしまう、家族のことで悩みがある
- ・「どこに相談すればよいかわからない」というときも、まずはご連絡ください

▼お問い合わせは、鹿部町こども家庭センター(役場保健福祉課内:01372-7-5291)へ。

鹿部町赤十字奉仕団員も募集 赤十字活動資金にご協力ください



今年も町内会等を通じて活動資金(社資)をお願い(募集)しています。

日本赤十字社では、「人道」理念のもと、命と健康を守るため、災害時の医療救護活動や平常時の救護訓練、救護物資の備蓄等のほか、とっさのときの手当を学ぶ各種講習の開催、ボランティアの養成などさまざまな活動を展開しています。

東日本大震災では北海道支部をはじめ、赤十字病院、血液センター等から、被災地へ職員やボランティアを派遣して医療救護活動を行いました。

また、北海道胆振東部地震災害でも、避難所への救護班の派遣や医療救援、巡回診療を行っており、今年度も組織の総力をあげて支援に取り組んでいきます。こうした活動の資金は、義援金や補助金ではなく皆さんから寄せられる寄付金で賄っています。

今後の継続的な活動を推進するためには、より

多くの皆さんからのご協力が不可欠となっています。ご理解をいただき活動資金への支援をよろしくお願いします。

鹿部町役場受付実績(義援金を除く)

令和7年度:634,443円(令和6年度:489,500円)

鹿部町赤十字奉仕団では、さまざまな活動に参加していただける団員を募集しています。

活動内容

炊き出し訓練、各種ボランティア活動、赤十字研修会への参加など

▼お問い合わせは、役場保健福祉課福祉係(01372-7-5291)へ。